



ヒラギナンテン [柎南天]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種・園芸品種



科名 メギ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

在来種のように思えるほど馴染みのある低木。鋸歯が刺状になる複葉は常緑だが、一部黄葉、紅葉する。黄色い花と夏ころから成熟する実が特徴。強健で日陰地や狭い場所にも適応する。園芸品種が多く、チャリティーや鋸歯に触れても痛くないコンフーサもよく植えられる。



Memo

雄しべに触れると、なびくように動き出す。接触屈性といい、こうして訪問昆虫に花粉を付ける。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花期												
	果実												
	紅葉・黄葉												
	施肥												
剪定													

好みの環境			
日当たり	陽	○ ○	耐陰
土壌	乾	○	湿
寒さ	強	○	弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○ ○			○		○	

ポイント

強健だが、強い西日が当たると葉焼けすることがある。建物周りの基礎部や設備器具の目隠しに利用できる重宝な存在。刺状の鋸歯があるので、進入されたくない場所に実用的な配植もできる。

剪定

古い葉を取り除く程度で、ほとんど手入れがいらぬ。枝を分岐することは少なく、根際から枝を立ち上げるので、新旧更新するように枝を整理するとまとめやすい。

病虫害

鬱蒼（うっそう）としてくると、うどんこ病が発生することがある。古い枝を整理し風通しをよくするとよい。見映えも良くなる。